

園だより



駿河台大学第一幼稚園
5月



風薫る5月。各学年の子どもたちの作品の鯉のぼりが、子どもの日をお祝いしているようです。今年は、昨年度修了した今年生の作品も“おかえりデー”に飾ります。一年生になった子どもたちのパワーが帰ってくるのも楽しみです。

新学期が始まり、どのお子さんも、喜びと戸惑いと両方を感じながらも、毎日の園生活のために早起きをしたり、朝の支度をしたり、暑い日も雨の日も登園することができました。十分に褒めてあげたいことだと思います。

年長さんも年中さんも今まで以上に自然に年少さんと手をつないだり、気遣ってあげたり、降園時のお迎えに来た修了生を覚えていて嬉しそうに近寄って喜んでいたり、人と人がつながることが嬉しいことだという姿を見せてくれています。

今年も、旧職員の方が全学級にオタマジャクシをたくさんくださいました。年少さんが「オチャカナ？」と初めてたくさん泳ぐ様子を見て、初めて会うその方に嬉しそうに質問していました。人も、生き物も出会いは喜びを運んできますね。

園庭のプランターに興味をもった子どもたちとマリーゴールドの種を植えました。これは、くすのき団地の自治会長の宇治さんからいただいた種です。「世界アルツハイマー月間の9月にオレンジガーデニングプロジェクトの一環で行われるそうです。保護者のみな様も開花を楽しみにしてください。

毎日、年長がする係のお当番、お休み調べの3人の子ども達。子どもだけで職員室に来て調べたことを伝えたり、質問に答えたりしますが、緊張のあまり3人が手をギュッと握りあい支え合おうとしているのがほほえましくありました。こう返事をしようねと、ヒソヒソ声で相談しては、「いっせ～の」と掛け声をかけてやっと言えたとホッと安堵する。このような子どもにとっての初体験がちりばめられている幼稚園の生活です。

5月の連休後、親子遠足があります。親子で楽しめる良い日になりますように。今年度は、遠足候補地を見直し、公園だけではなく博物館やプラネタリウム見学などを増やしていきます。まずは、箱根合宿の際の見学地を下見に行き決定しました。今後お伝えしていきます。